

令和6年12月24日

1年～6年保護者様

川崎市立登戸小学校  
校長 棟居 謙

## 児童用非常袋の用意について

本校では、「自分の命は自分で守る」をテーマに、これまで子どもと一緒に防災学習を進めています。その中で、震災や自然災害の際に、保護者が帰宅困難でお子さんを引き取りに来ることができなくなった時に、どんなものを用意したら安心して待つことができるか、子どもたちと考えました。

そこで有事の際、子どもたちが、保護者が引き取りに来るまでに使用するものを、それぞれが事前に備蓄し、保管していきたいと思います。次のものを各家庭で用意し、袋に入れて、1月7日(火)～10日(金)の期間にお子さんに持たせてください。クラスごとに保管いたします。次の中身の入れ替えは3月下旬となりますので、食料についてはそれまでもつ物をお選びください。

### 1. 袋について

手紙とともにお渡ししたチャック付きの透明な袋に入れ、大きくマジックで名前を書いた紙を入れてください。

※袋に入れたとき、できるだけ分厚くならないように工夫してください。

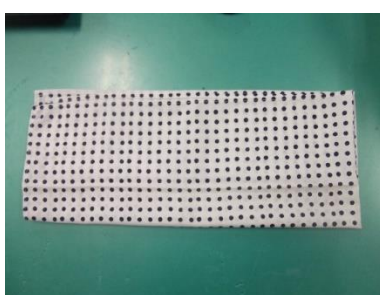


名前  
棟居 謙

クラスでまとめて、衣装ケースに入れるので、スリム化にご協力ください。

## 2. 袋の中身について（共通に用意するものは、子どもたちが考えました）

軍手	けが防止と寒さ対策のため使う
薄手の布（手ぬぐい）	けがした時に巻ける。寒いとき首に巻く。
マスク(1～2枚)	地震で教室がほこりっぽいかもしれないのと感染防止
ウェットティッシュ	水がなくなるので、手をふくために
食料	カロリーメイトやクッキーや乾パン、ドライフルーツ、チョコレートなど保存できるもの 1晩過ごせる程度 できるだけ袋が薄くなるよう、収納に工夫する。
ばんそうこう（1～2枚）	傷を負っても手当てするものが不足するので必ず準備
薬	すぐに薬は手に入らないので、いつも飲んでいて必要な人は準備
その他	個々に必要考えたもの



## 3. 児童用非常袋の扱いについて

- 年2回、長期休業ごとに中身の点検をします。（7月夏休み前、3月学年末）  
少なくとも点検時期まで、消費期限が間に合うものを準備してください。

## 4. 非常袋の準備について

- 食料については、アレルギーの有無などを考慮して、お子さんと話し合いながら準備ください。

名前